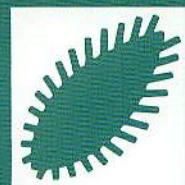


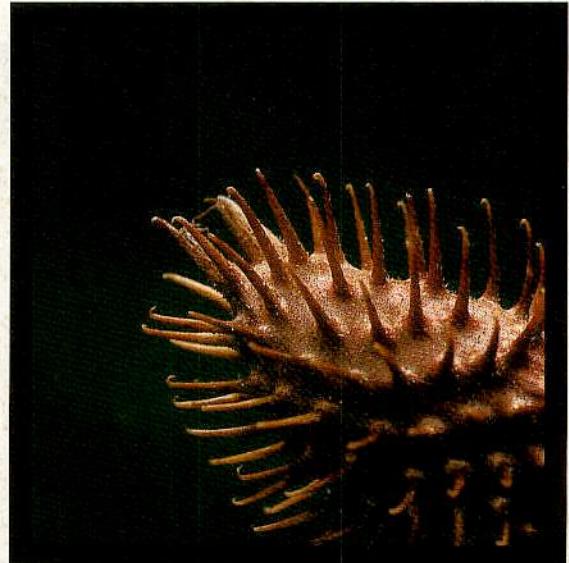
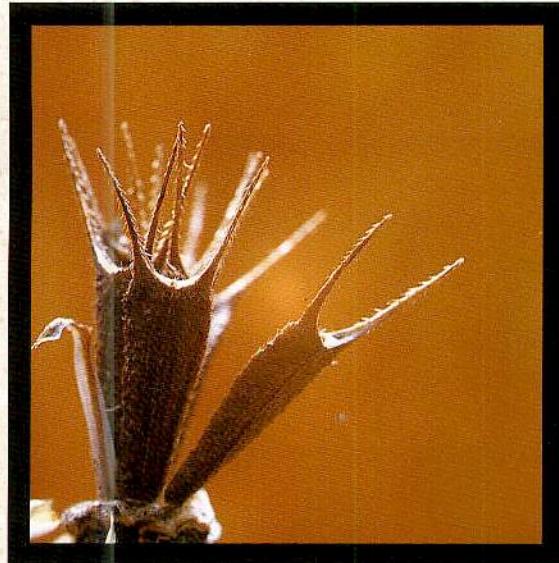


第5回緑の国勢調査

'96 身近な生きもの調査



●調査のてびき●



環 境 庁

'96 身近な生きもの調査



目 次

はじめに	2
調査の概要	3
こうやって調べてください	4
①森や林を歩こう	5
②草はらを歩こう	6
③水辺や湿地を歩こう	7
ハイキングや登山の機会に	8
ひっつきむし図鑑	9
調査票の記入のしかた	14

はじめに

このてびきを手にされたあなたは、自然に大変興味をお持ちの方でしょうか、それともこの調査のことをお聞きになって、初めて自然に目を向けようと思われた方でしょうか。みなさん、それぞれの思いがあることと思います。

このてびきは、調査のやり方やひっつきむしの見分け方などについて説明したものです。調査を始める前に、ひととおり目をとおしておいてください。わかりにくい点は、どうぞご遠慮なく、自然環境調査室へお問い合わせください。

今回の調査が、みなさんの身の回りの自然をもう一度見つめ直すきっかけになればと、願っています。実際に調査を始めてみると、分からなくなったり、とまどったりすることもあるかと思いますが、調査期間は十分にありますので、じっくりと、みなさんのペースでやってみてください。

身近な自然の変化を知るために

雑木林や草地、田んぼや畑の周辺は誰にとってもなじみ深い環境です。しかし、都市化とともに少なくなった環境は、まず森林、続いて農耕地でした。東京近郊の武蔵野台地では、1947年から61年までの14年間に樹林地は半分以下に減り、1958年から74年までの16年間に田んぼや畑は3分の1になってしまいました。同時に、そのような環境の周辺で見られた動植物も姿を消してきました。こうしたことは、全国のどこの都市の周辺でも起きていることでしょう。

私たちの身の回りの自然はどこでも同じというわけではなく、それぞれの土地でそこに固有のものです。しかしそれは人間活動の影響で損なわれやすく、一度損なわれると、その価値も忘れられてしまいます。

そこで、身の回りの身近な自然を残すために、その今の姿をみんなで確認しておこうというのが、今回の「ひっつきむし調査」のねらいです。

植物は動物とちがって動き回ることはなく一ヶ所にじっとしていますが、いろいろな方法でタネを広く散布し、子孫を広げてゆきます。鳥に食べられて糞と一緒に遠くへ運ばれるもの、タネや実に翼や羽が付いていて風で遠くまで運ばれるもの、そして、実にトゲやカギをつけてひっつきむしとなって、動物の毛や人の衣服について遠くに運ばれるものがあります。

オナモミやイノコヅチなど、ひっつきむしをもつ雑草が皆さんの身近な場所にどのくらい生えているでしょうか。そのような植物が育つ雑木林や草地が今も残っているでしょうか。今回の調査の結果はそんな疑問を明らかにしてくれるでしょう。

調査の概要

調査に使う資料

①調査のてびき

今お読みいただいているこの冊子です。この冊子には、大きく分けて、調査全体の流れ、調査のやり方、調査結果の返送方法などが書いてあります。

調査を始めるまえにひととおりお読みいただき、このてびきに従って調査をすすめてください。

②調査票

調査結果を環境庁に報告するための用紙です。

14~15ページの記入例を参考にしてください。

③アンケート用紙

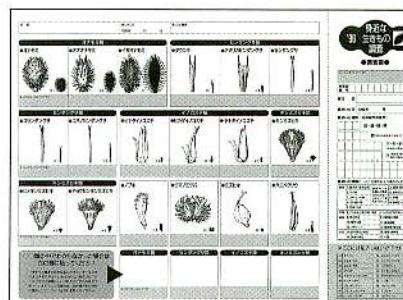
調査結果とは別に、参加形態や人数などについておたずねする用紙です。差し支えのない範囲でご記入いただき、調査票と一緒にお送りください。

④返送用封筒

調査結果を記入した調査票を環境庁に返送するときに使う封筒です。



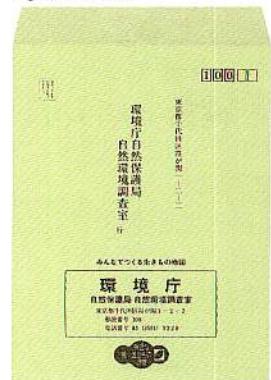
①調査のてびき



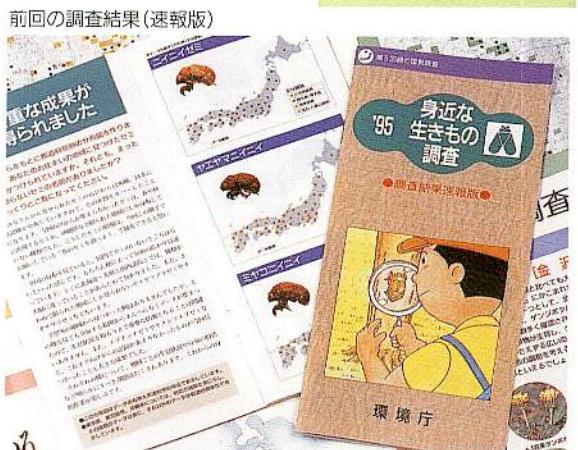
②調査票



③アンケート用紙



④返送用封筒



調査する範囲

調査はできる範囲ですすめてください。あらかじめ決められた調査範囲(場所)というものはありません。また、調査対象となっているすべてのひっつきむしを集める必要はありません。あなたが調べた場所で集まったひっつきむしだけを、調査票に貼って送ってください。

調査票の返送期限

1996年(平成8年)12月20日(消印有効)までに、まとめてご返送ください。

集計と調査結果の公表

みなさんから寄せられた調査票のデータはコンピュータに入力され、植物ごとの集計を行うとともに、全国あるいは地域ごとの分布図(生きもの地図)が作成されます。みなさんから寄せられたデータをもとに分布図を作成することによって、生きものから見た身近な自然の状況や都市化の影響などがわかるわけです。

こうした調査結果は新聞やテレビを通じてお知らせするとともに、調査票をお寄せいただいたみなさんは、できるだけ早く分布図などを盛り込んだ「報告書」をお届けします。